

富山高専は太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー関連教育実験システムを導入します。本郷キャンパスでは、太陽光、極小水力、低温度差により発電した電気を電気自動車や植物工場で利用する一方、蓄電池に貯めることができるシステムを導入します。射水キャンパスでは太陽光発電とエコハウス、蓄電池からなるシステムを導入します。各キャンパスでは発電状況をコンピューターで把握するとともに、電力消費をネットワーク技術により監視することができます。また、プログラミング技術により、校内電力消費量の平準化が可能になるものです。富山高専では本システムを用いて、全学科においてエネルギーとコンピュータネットワークの実験実習を行うとともに、専門学科ではスマートグリッド時代を指向した実証研究を行う予定です。

この度、本システムの導入発表会・見学会を開催しますので、ご案内させていただきます。再生可能エネルギーを中心とした最新教育設備をご覧いただきたく、関係各位のご出席をお願い申し上げます。

「再生可能エネルギー」を軸としたエネルギーの総合実験装置



大型エネルギー教育実験設備導入発表会・見学会

平成26年3月25日（火）14:00～16:00（受付13:30～）
富山高等専門学校本郷キャンパス 階段教室

■ 次第

- (1) 挨拶と導入目的
(校長 石原外美)
 - (2) 導入設備・装置の概要説明
(各担当教員)
 - (3) 見学会

■ 申し込み

『エネルギー設備導入発表会・見学会申し込み』と題して、氏名、所属、連絡先電話番号を富山高専総務課までFAXあるいはE-mailで3/19までにお申し込みください。

FAX : 076-492-3859
E-mail : kikaku@nc-toyama.ac.jp

■お問い合わせ

富山高専総務課担当湯畠(076-493-5486,
kikaku@nc-toyama.ac.jp)までご連絡ください。

一、习总书记

会場は本郷キャンパスになります

